

<変形性膝関節症>

変形性膝関節症の原因は関節軟骨の老化によるものが多く、関節軟骨が年齢とともに弾力性を失い、使い過ぎによりすり減り、関節が変形する病気です。肥満や遺伝的素因、骨折、靭帯や半月板損傷などの外傷、化膿性関節炎などの感染の後遺症として発症することがあります。主な症状は膝の痛みと水がたまることで、末期になると、安静時にも痛みがとれず、変形が目立ち、膝がピンと伸びず歩行が困難になります。

変形性膝関節症の治療に人工膝関節置換術があります。変形性膝関節症や関節リウマチによって傷んで変形した膝関節の表面を取り除いて、人工関節に置き換える手術です。当院では年間約150例の実施しており、患者さんはこのような入院生活を送ります。

人工膝関節置換術を受ける患者さんへ

患者さん用

お名前

主治医

担当看護師

項目	月日		入院2日目		入院3～4日目		入院5～8日目		入院9～11日目		入院12～19日目		入院20日目					
	入院当日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1～2日目	手術後3～6日目	手術後7～9日目	手術後10～18日目	手術後19日目	退院								
達成目標	手術について十分に理解することができる		不安なく手術に臨むことができる			苦痛・創痛がコントロールできる												
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置 リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 主治医の診察があります 内服している薬を確認します 		<ul style="list-style-type: none"> 朝から点滴があります 麻酔科より指示がある場合は内服薬を朝6時に少量のお水で飲みます 手術前に検温をします 			<ul style="list-style-type: none"> フットポンプを装着します 医師の指示により酸素吸入を行いません 持続の点滴があります 背中から持続の痛み止めの管が入ります 創部を冷やします 			<ul style="list-style-type: none"> 腓骨神経麻痺を起こさない(足関節の底背屈ができる) 車椅子移動ができる 			<ul style="list-style-type: none"> 歩行器で安定して歩行できる 			<ul style="list-style-type: none"> 杖を使用して安定して歩行できる 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活が理解できる 	
検査						<ul style="list-style-type: none"> 必要時創部の処置があります 採血 			<ul style="list-style-type: none"> 術後7日目:採血、レントゲン 術後14日目:採血、レントゲン 									
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室へは車椅子もしくは歩いて行きます 			<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です 医師の許可があればベッドの頭側を上げることが出来ます 			<ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行訓練が始まります。 			<ul style="list-style-type: none"> 杖での歩行訓練が始まります 						
食事	<ul style="list-style-type: none"> 治療食以外の方は制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 0時から禁食です 指示のある時間まで飲水は可能です 			<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示があるまで禁食です お腹の動きが確認できたら飲水は可能です 			<ul style="list-style-type: none"> お腹の動きが確認できれば食事が開始になります 			<ul style="list-style-type: none"> 治療食以外の方は制限はありません 						
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日はシャワーを浴びてください ジェルネイルやマニキュアは落として下さい 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が洗面のお手伝いをします 			<ul style="list-style-type: none"> 看護師が身体を拭くお手伝いをします お小水の管が入っている間は感染予防のために陰部洗浄をします 			<ul style="list-style-type: none"> 創部を医師が確認した後シャワー浴が可能となります(最初は看護師が付き添います) 									
排泄			<ul style="list-style-type: none"> 手術後へいく前にトイレを済ませて下さい 			<ul style="list-style-type: none"> 手術室でお小水の管を入れます 便の時はベッド上で便器を使います 			<ul style="list-style-type: none"> お小水の管を抜きますその後は車椅子でトイレに行きます(お小水の管が抜けた後、初回排尿を確認します) 									
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 主治医から手術に関して説明があります 		<ul style="list-style-type: none"> 義歯・眼鏡・時計などの貴金属を外して下さい 貴重品はセーフティボックスに入れて、鍵は付き添いの方に預けて下さい(付き添いの方が来られないなど、やむを得ず貴重品管理ができない場合は看護師にご相談下さい) 付き添いの方はデイルームでお待ち下さい 			<ul style="list-style-type: none"> 主治医からご家族に術後の説明があります 痛みの増強など、なにかありましたら遠慮なくナースコールして下さい 点滴やお小水の管等チューブ類がたくさん入っているので体を動かす際は注意して下さい 			<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取後に気分が悪くなりましたら、すぐにお知らせ下さい 車椅子乗車の注意点について再度看護師から説明があります 			<ul style="list-style-type: none"> 歩行器の使用法・注意点について看護師から説明があります シャワー浴について看護師から説明があります 		<ul style="list-style-type: none"> 杖歩行の注意点について看護師から説明があります 主治医より退院の説明があります 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活についての説明があります 		
	<ul style="list-style-type: none"> 手術承諾書、麻酔承諾書、輸血承諾書を預かります 																	

予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承下さい。
東邦大学医療センター 大森病院

作成日: 令和2年12月3日

改定日: 令和3年12月2日